

## 新入生を迎えて活動開始！

4月20日、家庭クラブ入会式・総会が開かれ、新入生80名（H科40名、D科40名）を代表してD1の市川凜奈さんが入会の挨拶をしました。

総会では、今年度の予算案や活動計画等が示されました。それぞれが所属する専門部での活躍を期待しています。



## ぼっけえ祭に参加しました

4月21日には、農産物の販売が中心の「ぼっけえ祭」が開催され、被服デザイン科は巾着やデニムバッグなど、手芸品の販売を行いました。当日は3年生の有志が運営にあたり、自分たちが作ったものを「買っていただく喜び」を味わうことができました。



## 「ファッション造形」作品作りに頑張っています

新学期が始まり、1年生は3年生から手縫いとミシン操作を教わり、被服製作技術検定4級の受検と合格を目指して、基礎縫いの練習に励んでいます。また、3年間使用する裁縫道具入れのデニムバッグ作りも装飾を終えて、縫製に入りました。

2年生は裏付きのスカートの製作に取り組んでいます。製図による型紙作りや、ファスナー付けなど初めて学ぶことも自分のものにしようとする姿勢が見られます。また、類型別の授業でも、それぞれの課題に真剣に取り組んでいます。

3年生も、卒業制作の作品作りの仮縫いもほぼ終了し、本縫いに進んでいます。自分が思う作品に少しでも近づけようと、仮縫いにも余念がありません。どんな作品に仕上がるのか、楽しみです。



〈1年生 検定準備〉



〈2年生 スカートの製作〉



〈3年生 ドレスの仮縫い〉



〈1・3年生 手縫い講座〉



〈2年テクニカル類型 刺繍の基礎〉



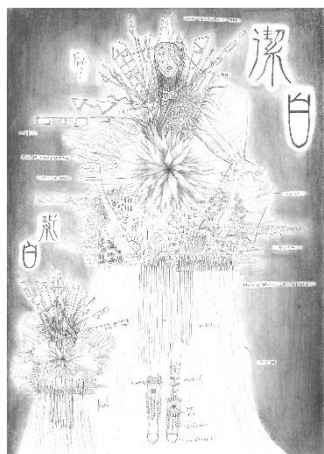
〈2年デザイン類型イメージマップづくり〉

## 今年度も好成績！コンテスト結果

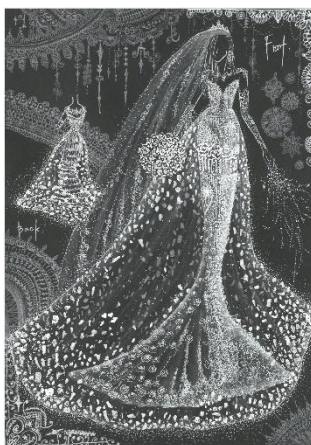
2年生と3年生のデザイン類型選択者が、4月から授業で取り組んできたデザイン画を、それぞれコンテストに応募しており、その結果が次々に届いています。

「第18回全国高等学校ファッションデザイン選手権（ファッション甲子園2018）」には、2年生の福井紅瑠実さん（サポーターは平井友梨さん）の作品が一次審査を通過しました。本校としては昨年に続く入賞で、応募総数3136枚の中から選ばれた35作品が最終審査にのぞみます。作品タイトルは「潔白」、これから審査に向け実物を製作していきます。

また、神戸ファッション専門学校主催の「第3回全国高校生ウェディングドレスデザイン画コンクール」では、福井紅瑠実さんの作品が神戸市長賞に、3年生の味谷みなみさんの作品が優秀賞に、佳作には3年生の塩見彩月さん、2年生の中西花歩さん、袴谷有花さんの3人の作品が選ばれました。



〈ファッション甲子園2018〉



〈神戸ファッション専門学校 神戸市長賞〉



〈優秀賞〉

## EXPERI-TIME 終わる

中間考查明けの5月25日、EXPERI-TIME（総合的な学習の時間）がありました。1年生は「自科を知る」テーマのもと、まず津田教頭先生から、被服デザイン科の50有余年の歩みをお話いただきました。その後、3年間で学ぶ専門科目の内容や夏休み明けに調査のある類型の特徴などについて学びました。

2年生は倉敷市の児島にあるアパレル企業の2社、カジュアルウェアの「株式会社ジョンプル」と、制服の「株式会社明石スクールユニフォームカンパニー」の工場やショールームなどの見学や、デザイナーの方等から製品開発などの貴重なお話をうかがうことができ、貴重な経験になりました。また、児島産業振興センターでは綿花から糸を紡ぐ体験をし、自分たちが学んでいることとのつながりを確認することができました。

3年生は午前中に専門学校講師の方による面接指導があり、午後は各自の進路希望に合わせて、進学希望者は進路ガイダンスを受講、就職希望者は企業見学に出かけました。各自の夢への第一歩として、貴重な一日となりました。



〈1年生 津田教頭による講演〉



〈2年生 糸紡ぎ体験〉



〈3年生 企業（トンボ）見学〉

